

# そこが聞きたい!! 一般質問

一般質問は、議員が市政全般について、自由なテーマで市長に質問・政策提言を行うもので、市民の声を市政に届けるものです。6月定例会では、12日、13日、16日の3日間、16名の議員が一般質問を行いました。ここでは、質問と答弁の一部をご紹介します。なお、質問の内容は、質問した議員が作成しています。



## 豊かな自然と共生する やさしいまちづくり

太田 博希（志政会）

### 今回の主なテーマ

- ▶入間川の水辺空間の活用
- ▶智光山公園の整備・充実
- ▶稲荷山の斜面林の保全・活用

#### ◆公園・緑地・河川などの整備と保全

- ①市の花「ツツジ」の保全と稲荷山のつつじまつりが半世紀ぶりに復活したが、市の考えは。
  - ②台風などによる河川氾濫への対応は。
  - ③入間川の自然資源の活用状況は。
- 建設部長** ①稲荷山公園は貴重な群生地であることから、定期的な管理と補植を継続的に実施していく。つつじまつりは、市民と行政が協働した事業として誇れる祭りになったものと考え、協働で継続的に取り組んで盛り上げていく。
- ②埼玉県が「川のまるごと再生事業」の一環で、25年度に河川内に堆積した土砂を約10万㎡撤去し、大雨に対し河川能力が強化された。26年度には、広瀬橋から田島屋堰まで低水護岸と高水敷護岸の築造強化が図られる予定。

③河川敷内には自然に育った林や湧水があふれるワンド(水が増えたときにつながる河川敷の小さな池)などがあることから、自然観察の場として残し、学習機能も兼ね備えた入間川にしていきたい。



新富士見橋から望む富士山と入間川



## 住んでみたいまち 住み続けたいまちさやま

大島 政教（無所属）

### 今回の主なテーマ

- ▶少子高齢化社会のまちづくり
- ▶中学校の統廃合
- ▶自転車駐車場の無料制度維持

#### ◆これからの狭山のまちづくり

少子高齢社会に応じた協働の国づくり、まちづくりが求められているが、市のまちづくりは。

**市長** 子育て支援の充実、都市基盤の整備、協働の推進に取り組む。住んでみたい、住み続けたいと感じる魅力あるまちづくりが肝要である。

#### ◆入曽駅へのエレベーターの設置は

エレベーター設置で狭山市と西武鉄道の協議が整わない障害は、そして打開策は。

**市民部長** バリアフリー法での設置以外で整備することができるかどうかが課題となっている。西武鉄道は、設置は鉄道事業者の責務と認識しているとのことで、市としても、早期に実現が図られるよう、引き続き強く要請していく。

#### ◆企業誘致や、サトイモなど狭山の農業振興は

狭山工業団地への企業誘致、サトイモ、ホウレンソウなどに代表される地元農業の一層の発展の具体的施策はいかがか。

**市長** 狭山日高インターチェンジ周辺に企業を誘致していきたい。地元農業は、作付面積の拡大や生産の効率化を図ることも大切であるが、農業の分野で県内の優位性を保っていきたい。



## 地域づくりや人材育成の 「域学連携」

齋藤 誠（公明党）

### 今回の主なテーマ

- ▼協働のまちづくり・域学連携
- ▼「読書通帳」は一生の宝
- ▼ネットで貸出返却・ウェブ図書館

#### ◆地域づくりや人材育成

地域活力の創出や若い人材の育成のツールとして域学連携の充実を。

**市民部長** 既に地域で活動している団体と結びつけるなど、地域と大学に必要な情報提供などを行い、さらなる連携が図れるよう取り組む。

#### ◆読書への意欲を高める効果

借りた本の履歴を目に見える形で残すことで読書意欲を高める「読書通帳」の導入を。

**生涯学習部長** 読書通帳は、子どもにとって読書意欲を高めるために有効と考える。現在、市では子ども読書活動推進計画の中で、児童生徒に「狭山の100冊」の読破を推奨しているが、読書通帳の活用は大変有意義と考え、検討したい。

#### ◆ウェブ図書館（電子図書館）の導入

電子書籍の普及から、電子図書を整備し、24時間、365日いつでもどこでも貸出・返却可能なウェブ図書館の導入を。

**生涯学習部長** インターネットを通じて電子書籍の貸し出しと返却ができるウェブ図書館は、手軽に本を借りられるなど大きなメリットがあるが、まだ試行段階にあるものと認識しており今後の動向を注視していく。



## 防災活動から 地域コミュニティを活性化する

矢馳 一郎（新しき）

### 今回の主なテーマ

- ▶地域防災を通じた多世代連携
- ▶団地をセールスポイントに

#### ◆発想を変えて団地に人を呼び込もう

TVアニメや住宅リノベーションの流行などの影響で「マニア」や「女性」にいわゆる「団地」がブームになりつつあるが、市内の団地を市のセールスポイントとして活用しては。

**総合政策部長** UR都市機構では、間取りの改善やデザインで、若年層、子育て層の需要を起す取り組みなどを行っている。民間の案件だが、人口増加や活性化に寄与する取り組みでもあり、効果的なりノベーションを働きかけたい。



地域の貴重な資源である団地

#### ◆世界に誇れる地域防災活動を目指して

①自主防災組織の活動をレベルアップするため、アドバイザーの派遣や組織の連絡協議会などが必要であると考えが市の見解は。

②防災訓練への地域防災活動の担い手として、中学生や実際に避難支援される要援護者の参加の必要性に関する見解は。

**市民部長** ①防災アドバイザーは、経験を基にした防災講話やアドバイスをするなど、自主防災組織の活性化に大変有効と考えている。また、連絡協議会は、自主防災組織間の連携強化のためにも、必要と考えている。

②地域の避難訓練への、要援護者本人や家族の参加が大切と考えている。また、中学生は、貴重な戦力として期待している。

ここに掲載していない一般質問の質問と答弁の概要は、ホームページでご覧いただけます。ホームページをご覧いただけます。お問い合わせは、議会事務局にご連絡ください。

04-29953-1111 内線3313